

「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) における NRG-ErbB シグナリングの 検討」

- ・ 研究の概要:本研究では、国立精神・神経医療研究センターを中心とする脳組織バンクで保存している剖検病理検体(脳)を用いて、現在発症機序が不明で有効な治療法の乏しい筋萎縮性側索硬化症(ALS)の病態解明のための基礎的な研究を行います。すなわち脳組織を免疫組織化学的方法および分子生物学的方法で解析し、NRG-ErbBシグナリングの関与を検討し、ALSの病態を解明することを目的としています。
本研究は、厚生労働省「臨床研究に関する倫理指針」に則って行われます。
- ・ 研究の対象:国立精神・神経医療研究センター及び健康長寿医療センターで、病理解剖された剖検病理検体(脳)を用います。ALS 及び類縁疾患（前頭側頭型認知症 (FTLD)、FTLD-tau(アルツハイマー病、Pick 病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、嗜銀顆粒性認知症などの疾患を含む) 80 例、正常対照 40 例は、ご遺族から医学研究に使用することの承諾を得ています。
- ・ 研究の意義:本研究により、ALSにおいて、NRG-ErbB シグナリングの関与が明らかになり、ALSの病態解明がさらに進むことが期待されます。
- ・ 研究の目的:筋萎縮性側索硬化症(ALS)における NRG-ErbB シグナリングの病態への関与を検討し、ALSの病態を解明することが目的です。
- ・ 研究の方法:脳組織を免疫組織化学的方法(分子を見えるようにする方法)で解析し、NRG-ErbB シグナリングの病態への関与を明らかにします。
- ・ 期間:2018 年 7 月 24 日～ 2023 年 7 月 23 日

本研究は「臨床研究に関する倫理指針」に則って公開致します。

平成 30 年 7 月

連絡先

〒 187-8551 東京都小平市小川東町 4-1-1
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター・病院・神経内科

電話：042-341-2711（代表）
担当者：高橋 祐二 (yutakahashi@ncnp.go.jp)

苦情等の窓口：倫理委員会事務局 e-mail : rinri-jimu@ncnp.go.jp